

清水港でのマグロ陸揚げ作業



坂元 茂樹

昨年七月十五日、豪州とニュージーランドは、国連海洋法条約に従って構成される仲裁裁判所に、日本とのミナミマグロに関する紛争を付託した。その主張は、日本が昨年六月から八月末迄に行ったミナミマグロの調査漁獲は、高度回遊性魚種の保存管理に関する海洋法条約に違反するものである。ミナミマグロは南半球を回遊し、別名インドマクロとも呼ばれている。鰯・刺し身向けの食材として、クロマグロに次ぐ市場価値をもつ高級魚である。世界で漁獲されるミナミマグロの九割以上が日本に輸入されている。この魚の漁獲をめぐる争いは、日本、豪州、NZを当事国とするミナミマグロ保存条約が一九九三年に締結され、その漁獲につき国別割当が定められ、総漁獲量が抑制されている。

本事件は、ミナミマグロ資源は回復基調にあるとして漁獲割当の増加を主張する日本と、資源は衰退傾向にあり漁獲割当は増やせないとする豪州らとの資源評価をめぐる対立である。日本の調査漁獲は、この対立に終止符を打とうとする、いわば「論より証拠」のための調査だった。実は、日本が国際裁判の当事者となるのは、一九〇五（明治三十八）年の「家屋税事件」以来九十五年ぶりのことである。国際法を専攻する筆者は、外務省の依頼でこの裁判の顧問団の一員となり、国際裁判に携わることとなった。裁判に備え熱い戦いの夏が始まった。

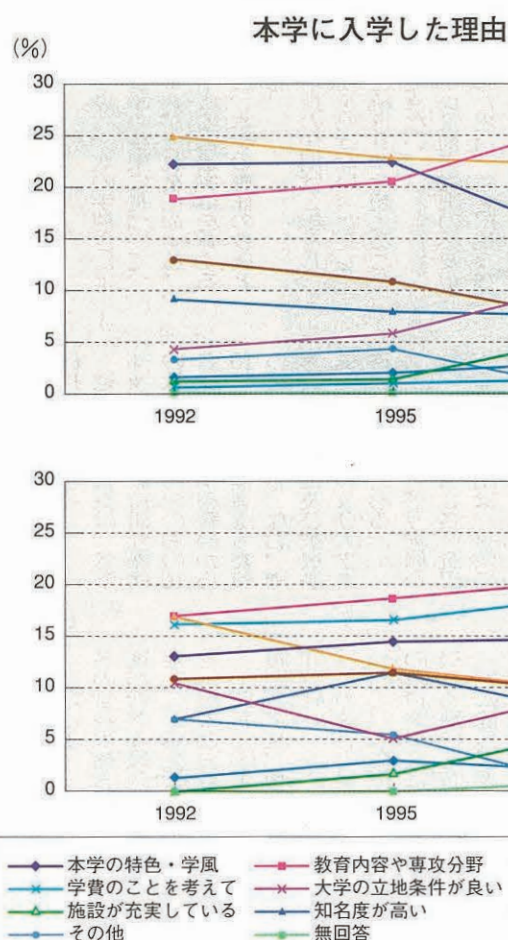
この五月、ワシントンの世界銀行の建物を借りて両当事者による仲裁裁判が始まった。裁判は、本紛争を海洋法条約上の紛争として一方的に性格づけ提訴した豪州らに対して、ミナミマグロ保存条約上の紛争であると主張する日本が、仲裁裁判所の管轄権を争う形で進められた。外務省、水産庁、顧問団（オックスフォード大やケンブリッジ大の教授を含む国際部隊）らは、米国の大手法律事務所を三階を借り切って、口頭弁論の準備を行った。午前九時の作戦会議に始まり、午前・午後の裁判所での審理を終えた後、事務所では州らに対する反論の準備作業を繰り返す毎日であった。国の威信をかけた国際裁判の現場に身を置く緊張感が、過酷な作業を乗り切る力を与えてくれたように思う。判決は七月末か八月初めに下される予定である。

仲裁裁判所の管轄権を争うこの先決的抗弁で、仮に日本が負けるような事態になれば、次に本案の裁判が始まる。年間八百万トンの魚を消費し、魚が動物性タンパク質の約四割を占める日本にとって、本事件は、単に特定魚種の問題にとどまらず国際漁業管理全般に関わる重要な論点を孕んでいる。それゆえ裁判の判決は、これからの日本の漁業政策に大きな影響を与えることになる。この裁判に携わる者にとって、熱い戦いの夏はまだ続くのである。

（法学部教授）

HEADLINE			
8面	6面	4・5面	3面
秋の公開講座のお知らせ	海外旅行のアドバイス、白馬池高原ロッジの利用案内	特集 学生生活実態調査の報告	学長選挙を公示

いよいよ新大学院棟が完成する。その名も尚文館。千里山キャンパスの中心にあって威容を誇るその姿。壮観だ。内部には最新の研究機器や設備を導入し、時代の最先端をゆくと思わせた。ここから「文をたつとぶべし」と、あるべき研究・教育の姿を謳うその名称。変わりゆくものと変わらざるものの共存。絶妙のバランスではないか。▼本学に新制大学院が設置されて半世紀。尚文館の建設は「学の実化」「関大アカデミア」「ハイト関大」を唱え、一貫して大学院の役割を重視してきた本学の姿勢を示すだけでなく、とりわけこの十数年、時代を見据えて研究・教育環境の情報化に取り組んできた本学の歩みをも象徴している。▼ところで大学の醍醐味・真髄は、何と言っても少人数ゼミ。また研究室での学生どうしの何気ない会話が思いがけない研究上のヒントを生み出すことも。要するに生の対話が楽しい。聞けば尚文館には通信ネットワークシステムが完備され、遠隔授業も可能という。あの大きな建物は、大学の昔ながらの情景を最新技術で応援してくれる、やさしい心をもっているのだ。（小西秀樹）



公開講座のお知らせ

第29回吹田市民 大学教養講座

会場は、木曜日は関西大学
千里山キャンパス内、新関西
大学会館北棟二階ホール。金
曜日は南千里の千里市民セン
ター。広く一般社会人が受講
できる。

（工学）
環境とエネルギーと私たちの暮らし

日程	テーマ	講師
九月二十一日 (木)	発電と原子力エネルギー	芝田 集次
九月二十八日 (木)	地球における物質と エネルギーの流れ	工学部教授 三宅 義和
十月五日 (木)	石油 ― その光と陰 ―	工学部教授 園田 昇
十月十二日 (木)	豊かな社会とプラスチック ― 廃棄物の減量化と リサイクルをめざして ―	工学部教授 西山 富博
十月十九日 (木)	生分解性高分子を用いた くすりの運搬	工学部教授 大内 辰郎

※時間は午前十一時三十分～正午

（保健・体育）
すこやかに過ごすためのライフスタイル

日程	テーマ	講師
九月二十一日 (木)	「こころ」から見た リフレクシュアリティ ― 理論と実践 ―	文学部教授 田村 典子
九月二十八日 (木)	豊かな老い パートⅡ ― 自分でもできる健康 （生活習慣病の予防と治療） ― 高血圧 ―	保健福祉センター 井上 澄江
十月五日 (木)	すこやかに過ごすためのコ ミュニティ・スポーツ ― パーソナル・フレイ ― 理論と実践 ―	文学部助教授 三浦 敏弘
十月十二日 (木)	自分でもできる健康 （生活習慣病の予防と治療） ― 高血圧 ―	保健福祉センター 和久 幸子
十月十九日 (木)	いつでも誰でもできる 生活の中での体操 ― 理論と実践 ―	文学部教授 末吉 崇暉

※時間は午後一時三十分～三時

（文学）
日本文学にみる外国との交流

日程	テーマ	講師
九月二十一日 (金)	上代文学の場合	文学部教授 大濱 眞幸
九月二十九日 (金)	王朝物語に見る ― 宇津保・源氏物語・ ― 松浦宮を中心 ―	文学部教授 田中 登
十月六日 (金)	蒙古襲来と日本の四開（国境）	文学部教授 青木 晃
十月十三日 (金)	近世の場合	文学部教授 山本 卓
十月二十日 (金)	井伏鱒二 ― ジョーン万次郎漂流記 ― ― 異文化との出会い ―	文学部教授 吉田 永宏

※時間は午前十一時三十分～正午

（法律・政治）
司法が変わる ― 「この国のかたち」を求めて ―

日程	テーマ	講師
九月二十一日 (金)	「この国のかたち」の制度設計 ― 21世紀の立法・司法・行政 ―	法学部教授 山川 雄巳
九月二十九日 (金)	中国の裁判 ― 「法治」への歩み ―	法学部専任講師 宇田川 幸則
十月六日 (金)	刑事裁判における ― 日本における陪審の ― 参事制の採否 ―	法学部教授 森井 暉
十月十三日 (金)	民事裁判と「団体の自治」 ― 裁判のジャッジと ― 司法審査 ―	法学部助教授 後藤 元伸
十月二十日 (金)	司法制度改革論議の動向 ― 21世紀の裁判官・ ― 検察官・弁護士像 ―	法学部教授 上野 泰男

※時間は午後一時三十分～三時

（経済）
吹田市中央公民館
吹田市出口町四一
吹田市出口町四一
吹田市出口町四一

※時間は午後一時三十分～三時

おおさか 文化セミナー

本学と大阪府立文化情報セ
ンター共催の「おおさか文化
ス」。

（近畿を巡る）

日程	テーマ	講師
十月三日 (火)	京都 京都の仏像と障壁画	文学部教授 山岡 泰造
十月十日 (火)	奈良 古都奈良と世界遺産	工学部教授 永井 規男
十月十七日 (火)	神戸 新都市・福原と ― 摂津の合戦譚 ―	文学部教授 青木 晃
十月二十四日 (火)	和歌山 紀伊の祭りと伝承	文学部教授 上井 久義
十月三十一日 (火)	大阪 上方藝能史	文学部教授 関屋 俊彦

※時間は午後六時三十分～八時

（経済）
関西大学生涯学習課
吹田市山手町三三三三五
吹田市山手町三三三三五
吹田市山手町三三三三五

※時間は午後一時三十分～三時

関西大学文化 セミナー（福岡市）

本学と西日本新聞社の共
催、福岡県教育委員会・福岡
中ホール。

日程	テーマ	講師
十月二十八日 (土)	戦時下の作家活動 ― 火野葦平・ ― 石川達三をめぐる ―	文学部教授 吉田 永宏
十一月五日 (土)	入道僧と博多	文学部教授 藤善 真澄

※時間は午後一時～四時三十分

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

日程	テーマ	講師
十一月十一日 (土)	社会の中の家族 ― 家族法の基本 ―	法学部教授 國府 剛
十一月十八日 (土)	家族を支える社会保障 ― 経済学部教授 ― 一岡 光彌	経済学部教授 一岡 光彌

※時間は午後一時～四時三十分

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

（経済）
本学主催、岡山県教育委員
会・岡山市教育委員会・山陽
ホール・イベントホール。

関西大学オープンセミナーを開催

開催都市	開催日	テーマ・講師	会場
開成都市	五月二十日 (土)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 土田 昭司	金沢駅西予備校
金沢市	九月十四日 (木)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 土田 昭司	代々木ゼミナール 新潟校
新潟市	七月二十七日 (木)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 寺嶋 繁典	河合塾文理中央校舎
仙台市	八月十一日 (金)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 西本 秀樹	河合塾浜松
浜松市	六月二十四日 (土)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 土田 昭司	名古屋国際ホテル
名古屋市	七月二十四日 (月)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 久保田賢一	TEC予備校
徳島市	六月十四日 (水)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 西本 秀樹	東進衛星予備校 松山一番町校
松山市	九月十九日 (火)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 石井 康敬	北九州予備校 山口校
山口県	九月二十六日 (火)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 石井 康敬	北九州予備校 博多駅前校
福岡市	九月十四日 (木)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 石井 康敬	北九州予備校 小倉駅前校
北九州市	九月十四日 (木)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 石井 康敬	代々木ゼミナール 熊本校
熊本市	八月九日 (水)	「大学で何が学べるか」 社会学部教授 石井 康敬	代々木ゼミナール 熊本校

公開講座フェスタ2000

阪神奈大生涯学習ネット
主催の「公開講座フェスタ2000」が「時」空間を超え
て、一週間にわたって開催さ
れる。この講座は、阪神奈の大学
がリレー講座として行うもの
である。

「社会人のための
生涯学習ガイド2000」
ただ今無料配布中!!
社会人を対象とした学習プロ
グラムを紹介するガイドを、千
里山キャンパス正門インフォメ
ーションロビーにて無料配布し
ています。

今月の表紙



坂元茂樹（さかもと
しげき）教授 専攻
は国際法。「ミナミマク
ロ事件」裁判の日本側
顧問。一九九五年には
国連国際法委員会に日
本政府オブザーバーと
して参加。



編集後記

今年の梅雨は雨が激し
く降り続いたかと思つと
一転して真夏の晴天と
なり、七月初旬に大阪で
すでに三十五度を記録し
て、猛暑の中の編集作
業となった。
今月号の特集記事に
は、最近のこの月号で
の定着となつて「学
生生活実態調査」の十
一年度分の結果を掲載
した。調査を実施し、原
稿をお寄せいただいた学
生部にお礼申し上げる。
この調査は、関西大学で
学ぶ学生諸君の生活のよ
り一層の充実を図るため
には必要不可欠なもので
、様々なところで活用
いただければ幸いである。
調査報告書の全文は後
日配布される予定であ
る。また今年度も同様
の調査が予定されてお
り、読者のみなさんの
協力をお願いしたい。
大学はこれから夏休
みに入る。次の「関大
通信」の発行日は十月
十日である。（山本彦彦）